



Safe Crop Project News



No.24 2019年10月発行

「ベトナム北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト（2016年～2021年）」は、北部地域2市11省において、「Basic GAP (Good Agricultural Practices)」を始めとする安全作物栽培の技術規範に沿った生産活動、消費者の安全野菜への信頼醸成、及び、多様なサプライチェーンの構築を支援することで、対象地域における安全作物栽培の振興を目指します。

Exposure Visit

10月18日に経験共有省から選定されたターゲットグループ、Ngam Mac 農協（バックニン省）と Thai Son 農協（ハイフォン市）を対象に、パイロット省であるハイズオン省のターゲットグループ Tan Minh Duc 農協と Thanh Ha 社を訪問する Exposure Visit を実施しました。経験共有省は、「パイロット省とセミパイロット省における活動進捗と結果の共有、サイト訪問等を通じて学んだことに基づき、省政府自らが活動を展開する」位置づけとなっています。受入れを行ったハイズオン省 PPMU 副代表の Vu Thu Ha DARD 副局長からは参加者に向けて、「今回の Exposure Visit は、ハイズオン省のターゲットグループである Tan Minh Duc 農協と Thanh Ha 社が、これまでプロジェクト活動で学んできたことを経験共有省のターゲットグループに伝える良い機会となる」ことが述べられました。



参加者に苗移植のタイミング等を説明する Thu 副代表（中央）

先に訪問した Tan Minh Duc 農協では、メロン栽培を行うグリーンハウスと育苗施設を訪問しました。参加者からは、苗床や育苗トレーに掛かるコスト、生育した野菜の販売価格等について質問があがりました。フィールド訪問後の質疑応答では、Ngam Mac 農協の Thanh 代表から、「メンバー農家からの仕入れ価格の設定方法」、「グループ^{*1}活動の活性化方法」等について質問があがり、Tan Minh Duc 農協の Thu 副代表より、「安全性と品質確保のためには内部管理の徹底が重要であり、それぞれのグループ長がモニタリングをきちんと実施するよう動機づけを行っている」、「記帳がしっかり為されている場合、市場の仕入れ価格よりも高い価格でメンバー農家から買付けを行っている」ことが回答されました。

次に訪問した Thanh Ha 社においては、Trang 副社長から、「農業も工業と同様に発展するためには常に変化が求められる」、「販路開拓後もバイヤーとの信頼を維持するために、常に先進的なモデルから学び、新しい品種や技術の導入を図っている」、「バイヤーのニーズに適った商品を提供できるよう、豊富な種類の野菜を供給できる体制を整えている」等、Thanh Ha 社の取組について説明が為されました。Thai Son 農協の Doanh 代表からは、「生産に係る知識をどのように取得しているか」について質問があがり、Trang 副社長からは、「予算があれば技術者を雇用することも一つの手段であるが、研修に参加すること等を通じて、直接生産と経営に係る自分自身が段階的に学びを深めていくことが重要である」ことが回答されました。



参加者に Thanh Ha 社の取組について説明する Trang 副社長

今回、旧農協から 2012 年の組合法に沿って新農協に移行した Ngam Mac 農協と小規模メンバーによって編成され、生産施設への投資を行いながら安全作物栽培を行っている Thai Son 農協、それぞれにとって参考になる点が多い訪問先として Tan Minh Duc 農協と Thanh Ha 社を選定しましたが、当初の想定通り、参加者にとって学ぶことの多い有意義な Exposure Visit になったと考えます。今後はそれぞれの農協が、今回得た学びを実際の活動に反映していくことを期待しています。

^{*1} プロジェクト参加農家数が多い農協では、農協内で更にグループを編成し、グループ毎に生産計画に沿った安全作物生産管理を行っています。

対象グループの紹介—Ngam Mac 農協

今号では、経験共有省のバックニン省より選定された Ngam Mac 農協を紹介させていただきます。以下、バックニン省 DARD に紹介レポートをいただきました。

Gia Binh 郡 Lang Ngam コミュニティに所在する Ngam Mac 農協は 300 農家をメンバーに擁し、約 70ha において季節ごとに多様な作物栽培を行っています。内 20ha において野菜栽培が行われており、10ha は安全野菜生産条件認証を取得済で、トマト、ツルムラサキ、カラシナ、空芯菜、コールラビ、キャベツ、瓜科野菜、玉ねぎ、ニンニク、ビート等を栽培し、安全食品店やスーパー等に販売しています。農協では安全野菜生産への投資、販路開拓に加え、メンバー農家への肥料や農薬の供給サービスも行っています。

プロジェクト対象農家として選定された 42 農家においては、実際の栽培状況や市場のニーズを考慮した上で、比較優位性のある作物を選定し、収穫の時期と見込み量を含む生産計画を作成しました。

今後 Ngam Mac 農協では、プロジェクトによる栽培技術、マーケティング、生産管理強化等の支援を得て、サプライチェーンに沿った Basic GAP に基づく安全野菜生産を行ってまいります。近い将来、Ngam Mac 農協を核に、安全野菜の生産と消費モデルがバックニン省で拡大していくことを期待しています。



ネットハウス内でのキュウリ栽培

以上、バックニン省 DARD にレポートいただきました。Ngam Mac 農協においては、プロジェクト参加農家が 6 つのグループを編成し、グループ毎に生産計画に沿った冬作栽培を開始したところです。プロジェクトでは、Ngam Mac 農協が記帳に基づく安全野菜生産を軌道にのせ、安定的に販路開拓を行っていきことができるよう、引き続き、圃場における栽培技術や記帳の指導、前処理施設の改修やマーケティング支援を行ってまいります。

CPMU による総括会議の開催

10 月 11 日、12 日の 2 日間に渡り、ビンフック省を会場に、CPMU (Central Project Management Unit) が総括会議を開催しました。11 日にビンフック省のターゲットグループ等を訪問し、翌 12 日にプロジェクト期間前半と 2019 年の上半期を総括するプログラム構成で、CPMU、パイロット省、セミパイロット省、経験共有省の PPMU (Provincial Project Management Unit)、プロジェクトチームから総勢約 50 名が出席しました。

12 日の総括会議では、パイロット、セミパイロット省からは、2017 年 4 月に選定されたターゲットグループ (7 グループ) は順調に記帳に基づく安全野菜生産、共同出荷、販路開拓が進んでいること、一方、2018 年 9 月に新たに選定されたターゲットグループ (13 グループ) の中には、共同出荷体制の構築を進めている段階にあり、引き続きプロジェクトによる集中的なマーケティング支援が必要なグループがあること、また、安全野菜の販路開拓においては前処理施設の整備が不可欠であること等が報告されました。今年 7 月より活動を開始している経験共有省からは、省の既存プログラム予算を活用しながら、プロジェクト活動を実施していることが報告されました。更にパイロット省のハイズオン省からは、本プロジェクトの成果を省の予算で新たに 5 グループに普及拡大していく計画を立案していることが報告されました。

最後に、10 月 31 日をもって農業農村開発省を退職される CPMU 代表の Tran Xuan Dinh 作物生産局副局長に、関係者から、本プロジェクトの円滑で効果的な実施に尽力いただいたことへの感謝の意が伝えられ、CPMU による総括会議は終了しました。



Tran Xuan Dinh 副局長 (中央) と PPMU 関係者

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております

JICA プロジェクト事務所

Room 201, Department of Crop Production, Ministry of Agriculture and Rural Development,
2 Ngoc Ha Str., Ba Dinh Dist., Hanoi, Vietnam
Tel/Fax : +84 24 3244 4373, Email: safecropproject@gmail.com